

ひびき

令和2年11月1日発行
取手市議会だより 第235号

発行・編集責任者 取手市議会議員 齋藤久代
発行 取手市議会
編集 取手市議会事務局
住所 〒302-8585 茨城県取手市寺田5139
電話 0297-74-2141 ファクス 0297-74-1990
ホームページ <http://www.city.toride.ibaraki.jp/>
メールアドレス gikai@city.toride.ibaraki.jp



市HP議会ページ



市議会フェイスブックページ



Web版ひびき

デモテック始動



初！オンラインで模擬本会議

10月2・9・13日の3日間、オンライン会議システムを用いて「模擬本会議」を実施しました。議員が自宅等から議会に出席しようとするのが課題なのか。どこの自治体議会も行ったことのない取り組みですので、普段の会議では気に留めない場面でも検証が必要に。例えば、議長の「異議ありませんか」の問いに、「異議がある」と表明したいときは、画面に見えるように手を挙げアピールするのか、「異議あり」と書かれたフリップボードを準備して画面に見せるのか、マイクをオンにして「異議あり」と発言するのかなど、瑕疵のない議決を行うために試行錯誤しています。コロナ禍や出産前後など議場に来づらい状況での議会開催とは——新しい議会の形を見つけるために、官・民・学連携で検証を進めています。

◆「デモテック」って何？

デモテックとは、Democracy（民主主義）にTechnology（技術）を掛けて作り出された造語です。情報技術（ICT）や人工知能（AI）などを駆使した新しい議会の形を目指す言葉として用いています。取手市議会は、早稲田大学マニフェスト研究所、一般社団法人地域経営推進センター、東京インタープレイ株式会社と4者協定を結び、議会のICT化による新しい民主主義の手法構築に向けて挑戦しています。



写真上：10月13日、議員の半数はオンライン参加の模擬本会議。画面上の市長役に対し、議場から質疑。
写真下：10月2・9日、議員全員がオンラインで参加し、議会事務局職員のみとなった議場。



オンライン視察で効果的に

8月12日、総務文教常任委員は、大規模改造工事が行われた藤代南中学校、消防本部、福祉会館をオンラインで現地視察しました。委員は自宅等からタブレットを用いて参加（写真左）。現地では職員が説明や動画中継を行いました（写真右）。別の職員が次の視察施設で待機しておくことで、各施設間の移動時間を短縮することもでき、効率的な視察が可能になりました。「課題はあるが、現地に行くのとほぼ変わらない」という声が多く寄せられました。



会議規則・委員会条例改正

9月4日の第3回定例会で、議会運営委員会から取手市議会会議規則と委員会条例の改正案が提出され、全員賛成で可決しました。この改正は、災害や感染症のまん延等のやむを得ない理由がある場合に、委員がオンライン会議システムにより委員会の会議に出席することを認め、会議室に集まることなく、討論と表決を除く部分について出席委員として議事に参加できるように有事に備えるものです。



優秀マニフェスト推進賞受賞！

10月7日に第15回マニフェスト大賞が発表され、応募総数2,842件の中から、取手市議会・議会事務局が「優秀マニフェスト推進賞 議会部門」を受賞しました。第12回、第13回の連続受賞から2年ぶり3回目の受賞です。グランプリや最優秀賞の発表は、11月13日の授賞式にて行われます。

